

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、大中華圏（中国・香港・マカオ等を含みます。）の企業等の発行するハイイールド債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBS

中国ハイイールド債券ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり) / (年2回決算型・為替ヘッジなし)

追加型 / 海外 / 債券

第3期（決算日2021年5月25日）

作成対象期間（2020年11月26日～2021年5月25日）

為替ヘッジあり (年2回決算型)	第3期末 (2021年5月25日)		第3期 (2020年11月26日～2021年5月25日)	
	基準価額	10,478円	騰落率*	1.8%
純資産総額	9百万円	分配金合計	0円	
為替ヘッジなし (年2回決算型)	第3期末 (2021年5月25日)		第3期 (2020年11月26日～2021年5月25日)	
	基準価額	10,578円	騰落率*	5.9%
純資産総額	7百万円	分配金合計	0円	

*騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先> 投信営業部 03-5293-3700

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く)

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

<閲覧方法>

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2021。キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

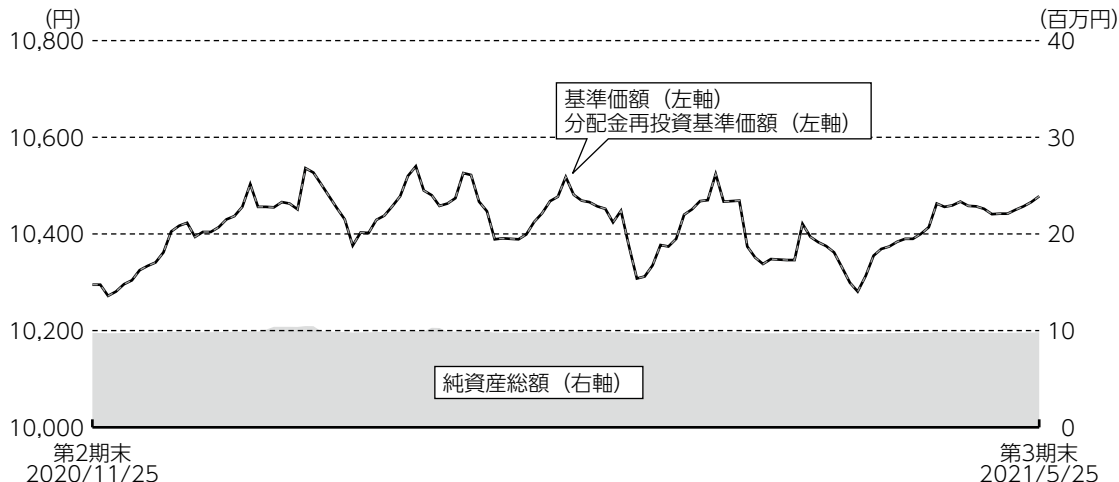
UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

[UBS中国ハイイールド債券ファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）] 運用経過

基準価額等の推移について

（2020年11月25日～2021年5月25日）



第3期首：10,295円

第3期末：10,478円（既払分配金 0円）

騰落率： 1.8%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当期の基準価額は、183円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+1.8%となりました。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。実質組入債券の価格上昇および利金収入が、主なプラス要因となりました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2020/11/26~2021/5/25		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	47円	0.453%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は10,403円です。
（投信会社）	（11）	（0.109）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（34）	（0.327）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 2）	（0.016）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	4	0.037	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 1）	（0.008）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（ 3）	（0.028）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（ 0）	（0.001）	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	51	0.490	

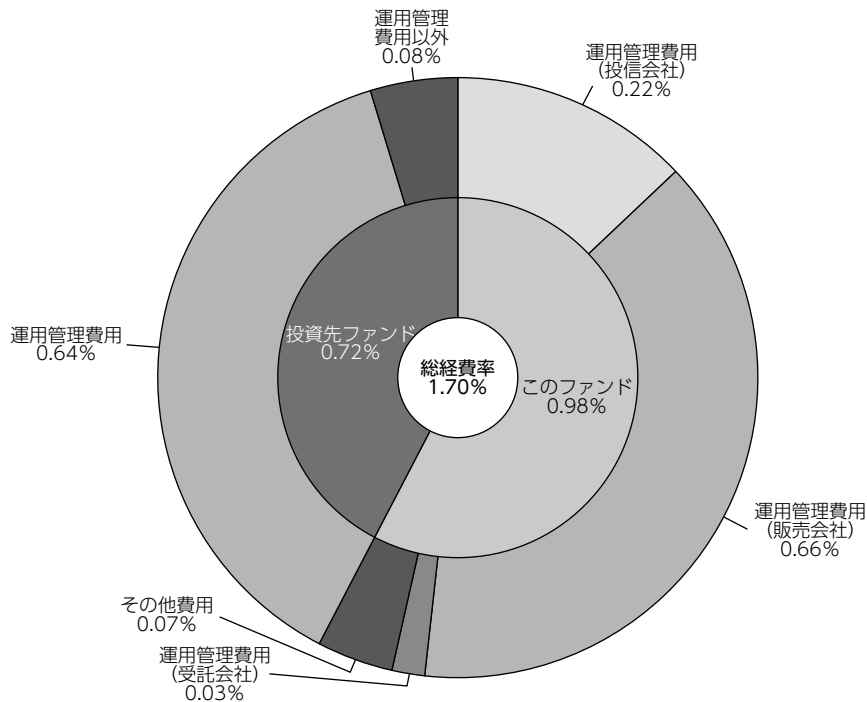
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報） 総経費率



総経費率 (①+②+③)	1.70%
①このファンドの費用の比率	0.98%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

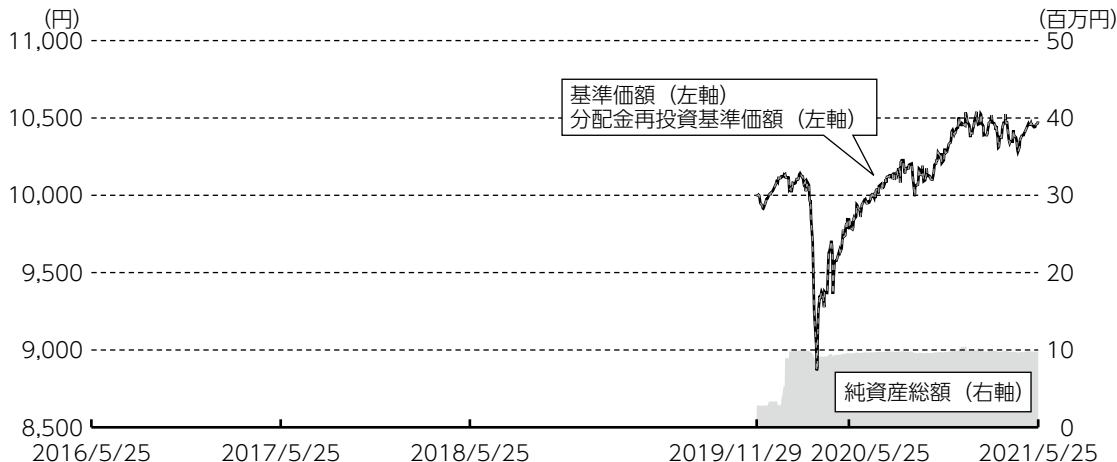
(注6) ②・③の費用は、一部、一時的に発生した費用も含めて年率換算しています。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2019年11月29日～2021年5月25日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日(2019年11月29日)の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2016年5月25日	2017年5月25日	2018年5月25日	2019年11月29日 設定日	2020年5月25日 決算日	2021年5月25日 決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	9,844	10,478
期間分配金合計(税込み) (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	—	—	—	△ 1.6	6.4
純資産総額 (百万円)	—	—	—	2	9	9

(注) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計(税込み)」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計(税込み)です。

※当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

投資環境について

当期の中国ハイイールド債券市場は上昇しました。2020年の終盤、新型コロナウイルスワクチンの実用化やバイデン米新政権下での経済対策への期待などを背景に投資家のリスク選好姿勢が広がった環境下、中国ハイイールド債券市場はスプレッドの縮小を伴い上昇しました。2021年に入ると、中国経済の力強い回復、中国当局による規制強化への警戒感、不安定な米中関係、米国長期金利の大幅な上昇など強弱の材料が混在する中で、中国ハイイールド債券市場は方向感に乏しい展開となりました。しかし4月の半ば以降は、米国長期金利の上昇が一服したことなどを背景に、中国ハイイールド債券市場は再び上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、UBS（HK）ファンド・シリーズーチャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）Class J JPY hedged-mdistおよびUBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）を主要投資対象とし、UBS（HK）ファンド・シリーズーチャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）Class J JPY hedged-mdistへの投資比率は、期を通じて高位を維持しました。

UBS（HK）ファンド・シリーズーチャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）Class J JPY hedged-mdistのポートフォリオについて

当ファンドは、大中華圏（中国・香港・マカオ等を含みます。）の企業等の発行するハイイールド債券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。セクター別では、相対的に信用力が高く、より安定的なキャッシュフローの見込まれる不動産セクターを選好しています。格付け別では、不安定な市場環境が続く環境下、ハイイールド債の中でも相対的に高格付けのB格およびBB格の比率を高め維持しました。

UBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

当ファンドは、わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を主たる投資対象とし、円短期金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、コール・ローン等での運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

当期は、市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項目	第3期
	2020年11月26日~2021年5月25日
当期分配金	-円
(対基準価額比率)	(-%)
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	1,020円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資環境の見通し

景気回復が進む中、中国当局は景気配慮型の政策スタンスを転換し、中立的な姿勢をとっています。また、特定のセクターにおける債務圧縮（デレバレッジ）に取り組むほか、企業のバランスシート健全化に向け新たな規制を導入するなど、債務管理の改善を進めています。こうした動きは、社債セクター全体にはプラスに作用すると見込まれる一方、個別企業の資金調達にはより厳しい環境になりうると予想されます。このため、中国ハイイールド債券の投資においては、綿密なクレジット・リサーチがこれまで以上に重要になると考えています。

全体としては、中国ハイイールド債券の見通しは良好と考えます。経済活動の着実な回復や、発行体企業の健全なクレジット・ファンダメンタルズに加え、中国当局が金融市場の安定を維持する姿勢を維持していることなどが、引き続き市場を下支えすると思われる。また、海外のハイイールド債券市場と比較した利回り面での魅力も、中国ハイイールド債券市場の追い風になると見込まれます。一方でリスク要因として、新型コロナウイルスの感染再拡大やワクチンの接種ペース鈍化、また米中関係の悪化などにより、市場の値動きが不安定化する可能性に留意しています。

当ファンドの今後の運用方針

UBS（HK）ファンド・シリーズーチャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）Class J JPY hedged-mdistへの投資比率を高位に維持する方針です。

UBS（HK）ファンド・シリーズーチャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）Class J JPY hedged-mdistの今後の運用方針

引き続き、主として大中華圏（中国・香港・マカオ等を含みます。）の企業等の発行するハイイールド債券に実質的に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。

UBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

お知らせ

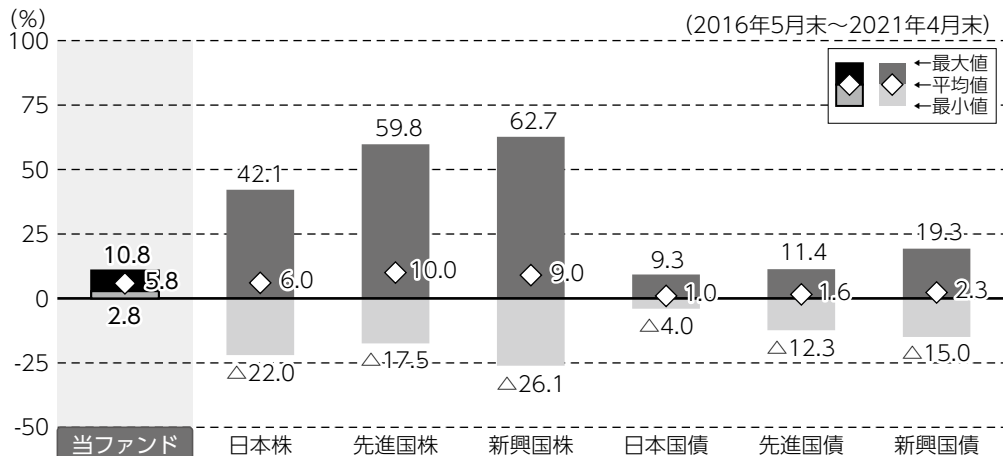
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型／海外／債券	
信託期間	信託設定日（2019年11月29日）から2029年11月26日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として、大中華圏（中国・香港・マカオ等を含みます。）の企業等の発行するハイイールド債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。なお、実質的な外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。	
主要投資対象	外国投資信託であるUBS（HK）ファンド・シリーズ-チャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）- Class J JPY hedged-mdist（以下「指定外国投資信託」といいます。）および国内投資信託であるUBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）（以下「指定内国投資信託」といいます。）の投資信託証券を主要投資対象とします。	
	UBS（HK）ファンド・シリーズ-チャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）- Class J JPY hedged-mdist	大中華圏（中国・香港・マカオ等を含みます。）の企業等の発行するハイイールド債券を主要投資対象とします。
	UBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）	わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を主要投資対象とします。
運用方法	指定外国投資信託証券への組入れについては高位を維持することを基本とします。なお、指定外国投資信託と指定内国投資信託との投資比率については、収益性と流動性を鑑み特に制限を設けませんが、通常の運用状況においては指定外国投資信託の受益証券への投資割合を原則として90%以上とします。	
	UBS（HK）ファンド・シリーズ-チャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）- Class J JPY hedged-mdist	大中華圏（中国・香港・マカオ等を含みます。）の企業等の発行するハイイールド債券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行うことにより為替変動リスクの低減を図ります。
	UBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）	国庫短期証券（TDB）3カ月の金利を目安に運用を行います。原則として、購入時において短期格付はA-1/P-1/a-1/J-1以上、長期格付はA3/A-以上の格付けが付与されたものに投資を行い、ポートフォリオの平均デュレーションは、原則として一定の範囲内で変動させます。
配分方針	<p>毎決算時（毎年5月25日および11月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。</p> <p>③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。</p>	

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2016年5月から2021年4月の5年間 (当ファンドは2020年11月から2021年4月) の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
- * 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社東京証券取引所に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

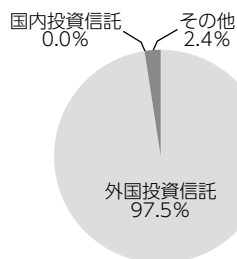
(2021年5月25日現在)

組入上位ファンド (銘柄数: 2銘柄)

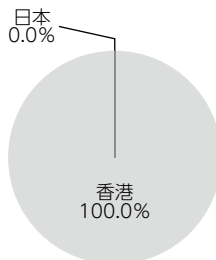
銘柄	比率 (%)
UBS (HK) ファンド・シリーズ・チャイナ・ハイ・イールド・ボンド (USD) - Class J JPY hedged-mdist	97.5
UBS短期円金利ファンド (適格機関投資家向け)	0.0

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

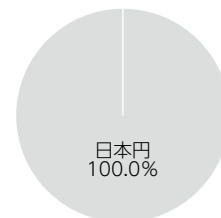
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書 (全体版)」をご覧ください。

純資産等

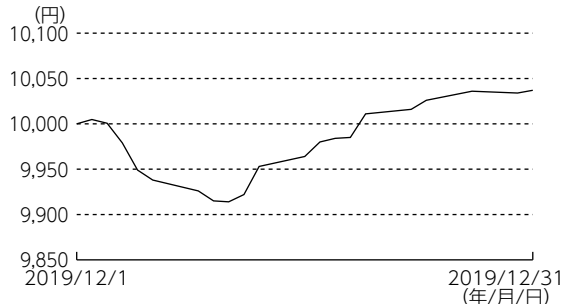
項目	第3期末 2021年5月25日
純資産総額	9,817,357円
受益権総口数	9,369,815口
1万口当たり基準価額	10,478円

(注) 当期 (第3期) 中における追加設定元本額は878,468円、同解約元本額は985,277円です。

組入上位ファンドの概要

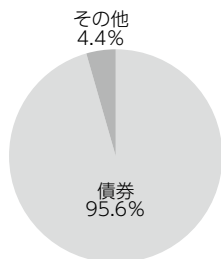
(2019年12月31日現在)

◆UBS (HK) ファンド・シリーズ-チャイナ・ハイ・イールド・ボンド (USD) - Class J JPY hedged-mdist
 基準価額の推移 (2019年12月1日~2019年12月31日) 組入上位10銘柄 (銘柄数合計: 88銘柄)

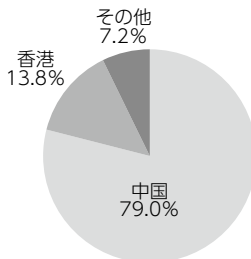


銘柄名	種別	比率(%)
GREENLAND GLB INVST SER EMTN (REG) (REG S) 9.125% 27MAY2020	社債	2.9
RONSHINE CHINA (REG) (REG S) 8.95% 22JAN2023	社債	2.2
SANDS CHINA LTD SER WI (REG) 5.4% 08AUG2028	社債	2.2
PHOENIX LEAD LTD 4.85% PERP 29DEC2049	社債	2.1
CIFI HOLDINGS GROUP (REG S) VAR PERP 29DEC2049	社債	2.1
MGM CHINA HOLDINGS LTD SER REGS (REG) (REG S) 5.875% 15MAY2026	社債	2.0
COUNTRY GARDEN HLDG CO (REG) (REG S) 7.5% 09MAR2020	社債	2.0
LOGAN PROPERTY HOLDINGS (REG) (REG S) 5.25% 23FEB2023	社債	2.0
WYNN MACAU LTD SER REGS (REG) 4.875% 01OCT2024	社債	2.0
LAI FUNG BONDS 2018 LTD (REG) (REG S) 5.65% 18JAN2023	社債	1.9

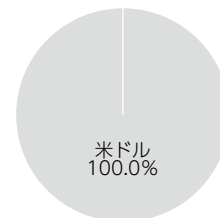
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジをしております。

- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

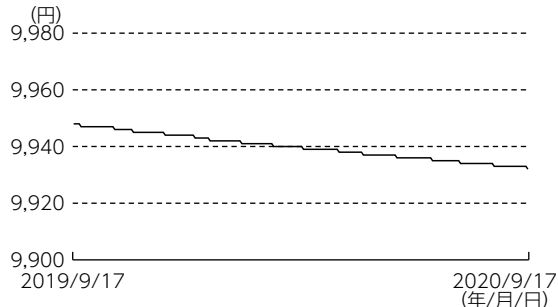
当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

（2020年9月17日現在）

◆UBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）

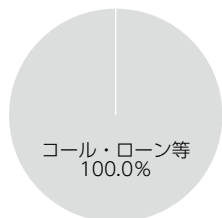
基準価額の推移（2019年9月17日～2020年9月17日）



組入上位銘柄

2020年9月17日現在、有価証券等の組入れはありません。

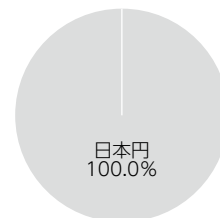
資産別配分



国・地域別配分

2020年9月17日現在、有価証券等の組入れはありません。

通貨別配分



(注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 上記のポートフォリオの内容は、組入れられたファンドの投資資産を表示しております。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2019/9/18～2020/9/17	
	金額	比率
信託報酬	4円	0.044%
（投信会社）	(1)	(0.011)
（販売会社）	(0)	(0.001)
（受託会社）	(3)	(0.032)
その他費用	0	0.002
（その他）	(0)	(0.002)
合計	4	0.046

※期中の平均基準価額は9,939円です。

(注1) 「1万口当たりの費用明細」は、直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

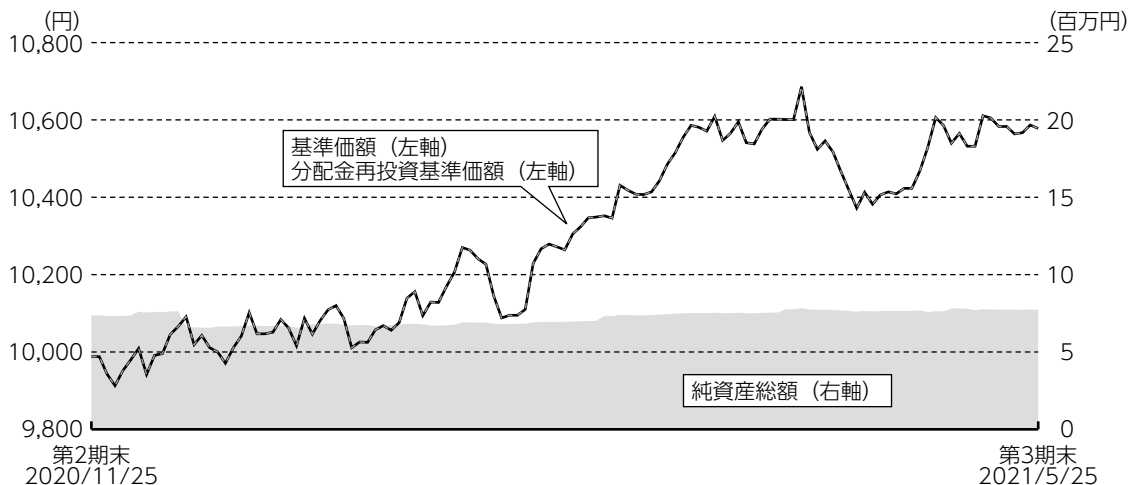
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

[UBS中国ハイイールド債券ファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）] 運用経過

基準価額等の推移について

（2020年11月25日～2021年5月25日）



第3期首： 9,988円

第3期末： 10,578円（既払分配金 0円）

騰落率： 5.9%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当期の基準価額は、590円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+5.9%となりました。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。実質組入債券の価格上昇および利金収入に加え、為替相場の変動（円安・米ドル高）もプラス要因となりました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2020/11/26~2021/5/25		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	46円	0.453%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は10,255円です。
（投信会社）	(11)	(0.109)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(34)	(0.327)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	4	0.037	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(2)	(0.028)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	50	0.490	

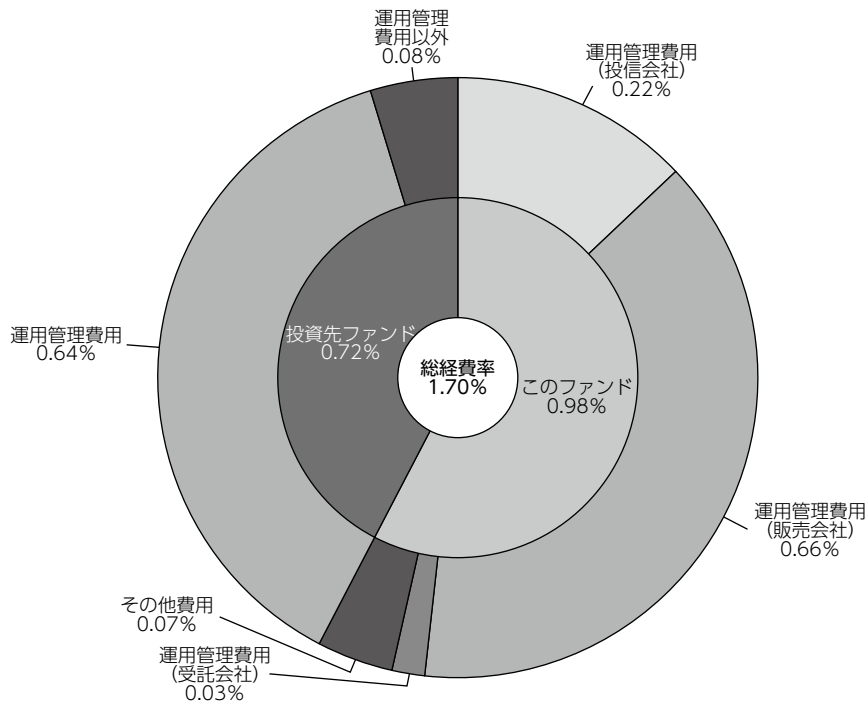
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報） 総経費率



総経費率 (①+②+③)	1.70%
①このファンドの費用の比率	0.98%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

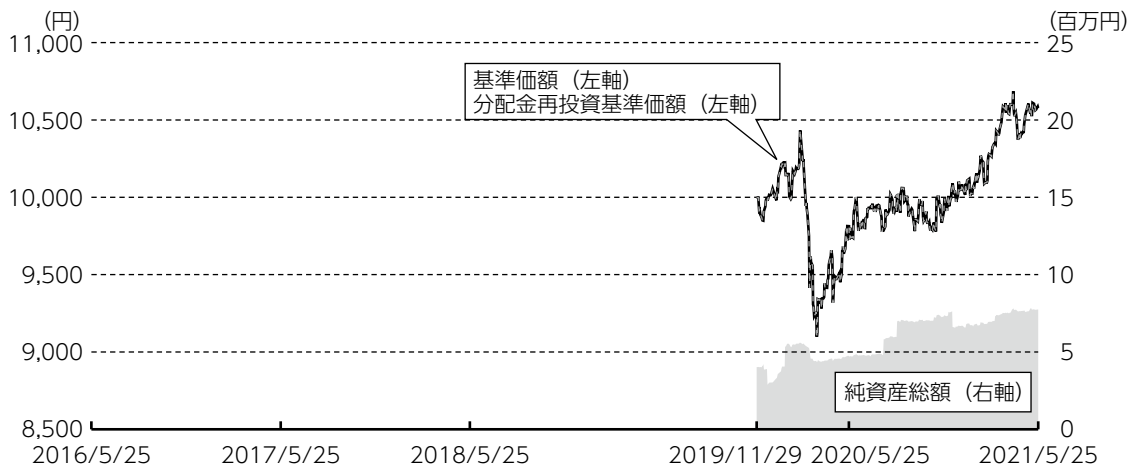
(注6) ②・③の費用は、一部、一時的に発生した費用も含めて年率換算しています。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2019年11月29日～2021年5月25日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日(2019年11月29日)の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2016年5月25日	2017年5月25日	2018年5月25日	2019年11月29日 設定日	2020年5月25日 決算日	2021年5月25日 決算日
基準価額 (円)	—	—	—	10,000	9,813	10,578
期間分配金合計(税込み) (円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	—	—	—	△ 1.9	7.8
純資産総額 (百万円)	—	—	—	4	4	7

(注) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計(税込み)」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計(税込み)です。

※当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

投資環境について

当期の中国ハイイールド債券市場は上昇しました。2020年の終盤、新型コロナウイルスワクチンの実用化やバイデン米新政権下での経済対策への期待などを背景に投資家のリスク選好姿勢が広がった環境下、中国ハイイールド債券市場はスプレッドの縮小を伴い上昇しました。2021年に入ると、中国経済の力強い回復、中国当局による規制強化への警戒感、不安定な米中関係、米国長期金利の大幅な上昇など強弱の材料が混在する中で、中国ハイイールド債券市場は方向感に乏しい展開となりました。しかし4月の半ば以降は、米国長期金利の上昇が一服したことなどを背景に、中国ハイイールド債券市場は再び上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、UBS（HK）ファンド・シリーズーチャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）Class J JPY-mdistおよびUBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）を主要投資対象とし、UBS（HK）ファンド・シリーズーチャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）Class J JPY-mdistへの投資比率は、期を通じて高位を維持しました。

UBS（HK）ファンド・シリーズーチャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）Class J JPY-mdistのポートフォリオについて

当ファンドは、大中華圏（中国・香港・マカオ等を含みます。）の企業等の発行するハイイールド債券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。セクター別では、相対的に信用力が高く、より安定的なキャッシュフローの見込まれる不動産セクターを選好しています。格付け別では、不安定な市場環境が続く環境下、ハイイールド債の中でも相対的に高格付けのB格およびBB格の比率を高め維持しました。

UBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

当ファンドは、わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を主たる投資対象とし、円短期金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、コール・ローン等での運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

当期は、市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項目	第3期
	2020年11月26日~2021年5月25日
当期分配金	-円
(対基準価額比率)	(-%)
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	1,004円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資環境の見通し

景気回復が進む中、中国当局は景気配慮型の政策スタンスを転換し、中立的な姿勢をとっています。また、特定のセクターにおける債務圧縮（デレバレッジ）に取り組むほか、企業のバランスシート健全化に向け新たな規制を導入するなど、債務管理の改善を進めています。こうした動きは、社債セクター全体にはプラスに作用すると見込まれる一方、個別企業の資金調達にはより厳しい環境になりうると予想されます。このため、中国ハイイールド債券の投資においては、綿密なクレジット・リサーチがこれまで以上に重要になると考えています。

全体としては、中国ハイイールド債券の見通しは良好と考えます。経済活動の着実な回復や、発行体企業の健全なクレジット・ファンダメンタルズに加え、中国当局が金融市場の安定を維持する姿勢を維持していることなどが、引き続き市場を下支えすると思われる。また、海外のハイイールド債券市場と比較した利回り面での魅力も、中国ハイイールド債券市場の追い風になると見込まれます。一方でリスク要因として、新型コロナウイルスの感染再拡大やワクチンの接種ペース鈍化、また米中関係の悪化などにより、市場の値動きが不安定化する可能性に留意しています。

当ファンドの今後の運用方針

UBS（HK）ファンド・シリーズーチャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）Class J JPY-mdistへの投資比率を高位に維持する方針です。

UBS（HK）ファンド・シリーズーチャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）Class J JPY-mdistの今後の運用方針

引き続き、主として大中華圏（中国・香港・マカオ等を含みます。）の企業等の発行するハイイールド債券に実質的に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。

UBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

お知らせ

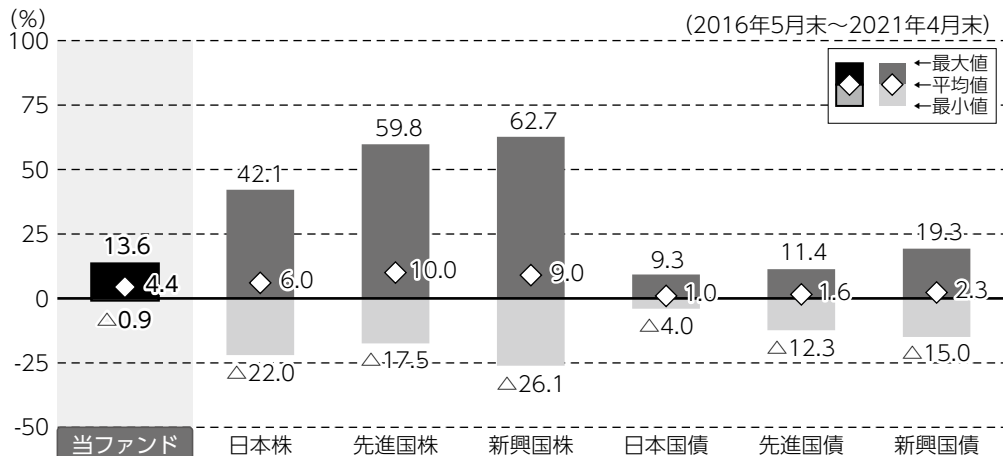
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型／海外／債券	
信託期間	信託設定日（2019年11月29日）から2029年11月26日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として、大中華圏（中国・香港・マカオ等を含みます。）の企業等の発行するハイイールド債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	外国投資信託であるUBS（HK）ファンド・シリーズ-チャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）- Class J JPY-mdist（以下「指定外国投資信託」といいます。）および国内投資信託であるUBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）（以下「指定国内投資信託」といいます。）の投資信託証券を主要投資対象とします。	
	UBS（HK）ファンド・シリーズ-チャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）- Class J JPY-mdist	大中華圏（中国・香港・マカオ等を含みます。）の企業等の発行するハイイールド債券を主要投資対象とします。
	UBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）	わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を主要投資対象とします。
運用方法	指定外国投資信託証券への組入れについては高位を維持することを基本とします。なお、指定外国投資信託と指定国内投資信託との投資比率については、収益性と流動性を鑑み特に制限を設けませんが、通常の運用状況においては指定外国投資信託の受益証券への投資割合を原則として90%以上とします。	
	UBS（HK）ファンド・シリーズ-チャイナ・ハイ・イールド・ボンド（USD）- Class J JPY-mdist	大中華圏（中国・香港・マカオ等を含みます。）の企業等の発行するハイイールド債券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
	UBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）	国庫短期証券（TDB）3カ月の金利を目安に運用を行います。原則として、購入時において短期格付はA-1/P-1/a-1/J-1以上、長期格付はA3/A-以上の格付けが付与されたものに投資を行い、ポートフォリオの平均デュレーションは、原則として一定の範囲内で変動させます。
配分方針	<p>毎決算時（毎年5月25日および11月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。</p> <p>③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。</p>	

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- *全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- *2016年5月から2021年4月の5年間（当ファンドは2020年11月から2021年4月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- *騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
- *騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社東京証券取引所に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

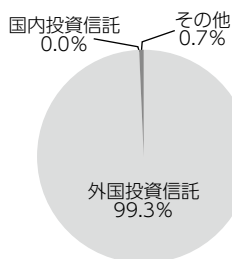
(2021年5月25日現在)

組入上位ファンド (銘柄数: 2銘柄)

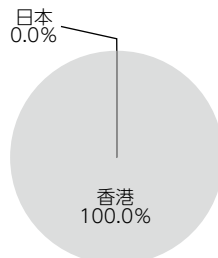
銘柄	比率 (%)
UBS (HK) ファンド・シリーズ-チャイナ・ハイ・イールド・ボンド (USD) - Class J JPY-mdist	99.3
UBS短期円金利ファンド (適格機関投資家向け)	0.0

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

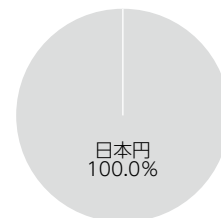
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書 (全体版)」をご覧ください。

純資産等

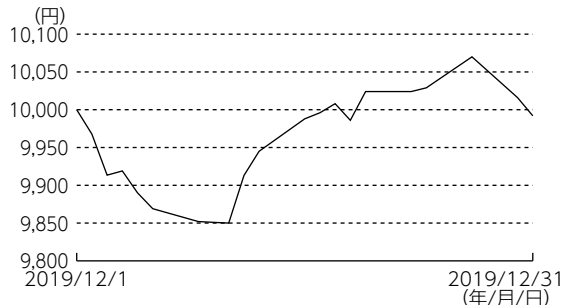
項目	第3期末 2021年5月25日
純資産総額	7,739,048円
受益権総口数	7,316,293口
1万口当たり基準価額	10,578円

(注) 当期 (第3期) 中における追加設定元本額は1,714,843円、同解約元本額は1,769,784円です。

組入上位ファンドの概要

(2019年12月31日現在)

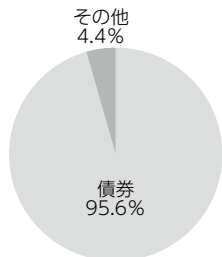
◆UBS (HK) ファンド・シリーズ-チャイナ・ハイ・イールド・ボンド (USD) - Class J JPY-mdist
 基準価額の推移 (2019年12月1日~2019年12月31日)



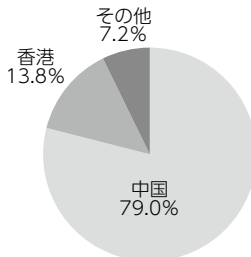
組入上位10銘柄 (銘柄数合計: 88銘柄)

銘柄名	種別	比率(%)
GREENLAND GLB INVST SER EMTN (REG) (REG S) 9.125% 27MAY2020	社債	2.9
RONSHINE CHINA (REG) (REG S) 8.95% 22JAN2023	社債	2.2
SANDS CHINA LTD SER WI (REG) 5.4% 08AUG2028	社債	2.2
PHOENIX LEAD LTD 4.85% PERP 29DEC2049	社債	2.1
CIFI HOLDINGS GROUP (REG S) VAR PERP 29DEC2049	社債	2.1
MGM CHINA HOLDINGS LTD SER REGS (REG) (REG S) 5.875% 15MAY2026	社債	2.0
COUNTRY GARDEN HLDG CO (REG) (REG S) 7.5% 09MAR2020	社債	2.0
LOGAN PROPERTY HOLDINGS (REG) (REG S) 5.25% 23FEB2023	社債	2.0
WYNN MACAU LTD SER REGS (REG) 4.875% 01OCT2024	社債	2.0
LAI FUNG BONDS 2018 LTD (REG) (REGS) 5.65% 18JAN2023	社債	1.9

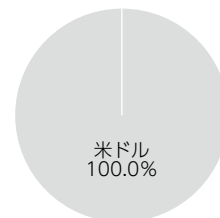
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

1万口当たりの費用明細

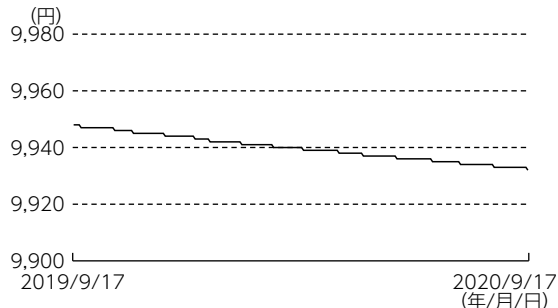
当該情報は開示されていないため、記載しておりません。

組入上位ファンドの概要

(2020年9月17日現在)

◆UBS短期円金利ファンド（適格機関投資家向け）

基準価額の推移 (2019年9月17日～2020年9月17日)



組入上位銘柄

2020年9月17日現在、有価証券等の組入れはありません。

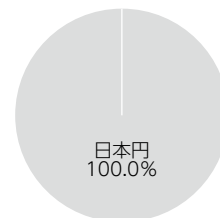
資産別配分



国・地域別配分

2020年9月17日現在、有価証券等の組入れはありません。

通貨別配分



(注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 上記のポートフォリオの内容は、組入れられたファンドの投資資産を表示しております。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2019/9/18～2020/9/17	
	金額	比率
信託報酬	4円	0.044%
(投信会社)	(1)	(0.011)
(販売会社)	(0)	(0.001)
(受託会社)	(3)	(0.032)
その他費用	0	0.002
(その他)	(0)	(0.002)
合計	4	0.046

※期中の平均基準価額は9,939円です。

(注1) 「1万口当たりの費用明細」は、直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。